

富山湾における鯨類の記録(2008年)

著者	南部 久男
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	32
ページ	115-116
発行年	2009-02-25
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=890

短 報

富山湾における鯨類の記録 (2008年)*

南部久男

富山市科学博物館

939-8084富山市西中野町1-8-31

**A stranding record of cetaceans in
Toyama Bay, Japan, during the year 2008.**

Hisao Nambu

Toyama Science Museum

1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama 939-8084, Japan

富山湾 (富山県側) の鯨類については2002年から漂着調査等が継続的に行われている (南部ら, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008; 関ら, 2005)。本報告では, 2008年に富山湾 (富山県側) で確認した鯨類の漂着について報告する。

富山湾で確認された鯨類

2008年の富山湾での鯨類の確認状況等は下記の1例である。

マイルカ科 Delphinidae

カマイルカ *Lagenorhynchus obliquidens*

場所: 高岡市太田の波打ち際 (図1, 図2)

確認日: 2008年4月12日

状況: 4月12日に地元住民により漂着個体 (死体) が発見される。4月15日高岡土木センター海岸班により確認された。4月22日に南部 (富山市科学博物館) により, 計測, 写真撮影後, 高岡市衛生公社により解体され, 焼却処分された。頭骨は富山市科学博物館で保管している。

計測値: 体長213cm, メス

今回確認されたカマイルカは富山湾では既知種であり, 湾内で群, 漂着個体が記録されている (表1)。カマイルカの漂着は本報告を含み, 8件8個体 (オス3個体, メス5個体) の記録があり, 富山湾西側から7個体, 東側で1個体と西側での記録が多い。西側では, 今回の確認地点を含む氷見市窪~高岡市太田の約5.4kmの

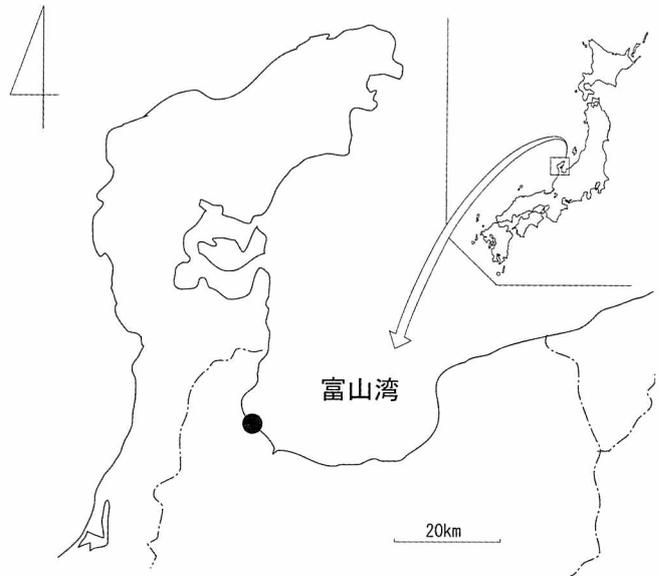


図1 漂着場所 (高岡市太田)



図2 漂着したカマイルカ

海岸 (砂浜) で漂着が記録されている。この範囲内で, カマイルカの他に, ミンククジラ *Balaenoptera acutorostrata* 1頭 (南部ほか, 2004) ハナゴンドウ *Grampus griseus* 1頭 (南部ほか, 2008), ハンドウイルカ *Tursiops truncatus* 1頭 (南部ほか, 2002), オットセイ *Callorhinus ursinus* 1頭 (南部ほか, 2000) の海棲哺乳類の漂着が記録されている。

謝辞

情報を提供していただきました富山県高岡土木センター工務第二課海岸班に厚くお礼申し上げます。

* 富山市科学博物館研究業績第367号

表1 富山湾におけるカマイルカの記録(富山県側)

富山湾の海域	年月日	場所	状況	体長(cm)	引用
富山湾東	2006年4月30日	黒部市宮崎鼻沖	群(約1000)		南部ら(2007)
	2001年4月20日	魚津市三ヶ	群		南部ら(2002)
	2003年5月16日	魚津市三ヶ	メス*	201	南部ら(2004)
	2004年4月11日	魚津市片貝川河口沖～ 黒部市経田沖	群		南部ら(2005)
	2006年5月10日	魚津市魚津港沖	群(3)		南部ら(2007)
	2002年2月27日	富山市岩瀬港沖	群		関ら(2005)
	2001年5月15日	新湊市富山新港沖	群		関ら(2005)
	富山湾西	2002年4月2日	高岡市太田	メス*	185
2006年4月30日		高岡市太田	群(約800)		南部ら(2007)
2006年5月8日		高岡市太田	オス*	150	南部ら(2007)
2006年5月14日		高岡市太田松太枝浜	メス*	186	南部ら(2007)
2008年4月12日		高岡市太田	メス*	213	本報告
2000年4月21日		氷見市氷見漁港沖	群		関ら(2005)
2005年6月21日		氷見市松田江浜	メス*	108	南部ら(2006)
2006年5月13日		氷見市窪島尾海岸	オス*	187	南部ら(2007)
2006年5月15日		氷見市柳田島尾海岸	オス*	185	南部ら(2007)
2006年5月		氷見市沖	群(3)		南部ら(2007)

* 漂着死体

参考文献

南部久男・田島木綿子・荻野みちる・倉持利明・山田格・田中豊,2000. 富山湾氷見市の海岸に漂着したオットセイについて.富山市科学文化センター研究報告. (23) : 169-171.

南部久男・稲村修・田島木綿子・倉持利明・山田格, 2002. 富山湾における鯨類(Cetaceans)の記録(2001年). 富山市科学文化センター研究報告. (25) : 129-132.

南部久男・西岡満・田中豊・太田希生, 2003. 富山湾における鯨類・ウミガメ類の記録(2002年). 富山市科学文化センター研究報告. (26) : 145-147.

南部久男・西岡満・関谷伸一・山田格・太田希生, 2004. 富山湾における鯨類の記録(2003年). 富山市科学文化センター研究報告. (27) : 75-78.

南部久男・田島木綿子・新井上巳・山田格・田中豊・

大田希生, 2005. 富山湾における鯨類の記録(2004年) 富山市科学文化センター研究報告. (28): 91-94.

関東雄・南部久男・山田格・石川創, 2005. 富山湾の海上における鯨類の目撃記録. 富山市科学文化センター研究報告. (28): 113-122.

南部久男・山田格,2006.富山湾における鯨類の記録(2005年) 富山市科学文化センター研究報告. (29) : 113-114.

南部久男・石川創・山田格・台藏正一・大田希生, 2007. 富山湾における鯨類の記録(2006年).富山市科学文化センター研究報告. (30): 63-68.

南部久男・石川創・山田格・田島木綿子・谷田部明子・台藏正一, 2008. 富山湾における鯨類の記録(2007年). 富山市科学博物館研究報告. (31): 99-102.